

三重の土地改良アラカルト

ふるさと農道緊急整備事業 小波田地区の開通について

伊賀農林事務所農村基盤室基盤整備2課
主幹 池本浩弥

1. はじめに

平成10年度に着手した、ふるさと農道緊急整備事業小波田地区（以下、本農道と表記）は、平成26年7月26日に地域住民の大きな希望に包まれて開通しました。本農道は地域の活性化や農産物の流通機能の向上など農村地域の振興に役立つことが期待されます。



開通式

2. 事業の概要

本農道は名張市北東部に位置し、国道165号線すずらん台口交差点から主要地方道上野名張線を結ぶ総延長2.8km、全幅7mの道路です。果樹栽培や農産物の生産・流通に対する営農の効率化に寄与するとともに、集落内道路のバイパスとして農村集落の生活環境の向上を目的として事業を実施しました。

道路沿いには、今から350年以上前の江戸時代に、藤堂藩により開墾された美旗新田と新田用水があり、近くには並行して京・大和とお伊勢さんを結ぶ、初瀬街道も通っている歴史文化が豊かな地域です。



初瀬街道

3. これまでの歩み

本農道は、平成10年度に小波田工区と新田1工区のL=1.8kmにて事業着手し、調査・測量・設計を行ない平成13年度より用地買収、平成15年度には路体工事を行い平成19年度に、新田工区の一部L=0.8kmを供用開始することができました。



小波田工区

小波田工区においては、地権者が行方不明者である等の理由により、一部路線変更をせざるを得ないなど用地取得が難航しました。平成20年度には、地元からの強い要望に応える形で計画変更を行ない、新田2工区L=1kmを追加し国道165号線から主要地方道上野名張線と結ぶ道路となりました。



新田工区

新田2工区では、江戸時代に開墾された美旗新田と新田用水の350年前から変わらない伝統的な「用水の掬」と複雑な用排水系統に悩まされ、設計・施工に知恵をしばりました。また、一部地権者との用地交渉が難航したり、設計変更が発生したり、予期せぬ出来事の連続でしたが、平成26年度に国道165号線の交差点改良を行ない、全線開通することができました。

4. おわりに

本農道は、幾多の困難を乗り越え、事業着手から開通まで16年という年月を経て無事開通することが出来ました。

これも伝統ある新田用水水利組合や周辺地域住民の方々のご理解や、多くの関係者のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。